第58回 事業所訪問

こんにちは健保組合です！

有限会社泰成工業（船橋市）の巻

記録的な猛暑となった今年の夏。各地で三五度を超える日が続き、体調を崩された方も多かったことでしょう。さらに猛暑の影響は、野菜や果物の生育を遅れさせ価格高騰の長期化を招き、日常生活にも影響を与えています。

異常な猛暑などの天候不順は、地球温暖化が関係しているともいわれています。未来の子どもたちのために青い地球を守っていくことは、私たち一人ひとりが環境への配慮を忘れないことから始まります。身近にできることから温暖化対策を考えていきましょう。

◆　◆　◆

朝晩はいくぶん過ごしやすくなりましたが、日中はまだまだ暑さを感じた十月十三日、第五八回目の事業所訪問として、本社が船橋市に所在する有限会社泰成工業（佐々木修社長）の業務拠点である、住友精化㈱千葉工場（八千代市上高野）の構内にある事務所にお邪魔しました。

八千代市は、昭和二十九年一月に千葉郡大和田町と睦村の合併により八千代町として誕生し、昭和四十二年一月に千葉県内で二一番目の市となり、首都圏からの交通の便や自然環境のよさから首都圏のベッドタウンとして発展してきました。「八千代」とは、めでたく喜ばしいときに使われる言葉で、無限の発展性を秘めているという意味があるそうです。

私たちが同工場を訪ねると、業務ご多忙のところ、今日の取材に快くおつきあいいただいた佐々木社長がわざわざ正門までお迎えに来てくださいました。「こんにちは健保組合です！」とあいさつすると、「どうぞこちらへ」と事務所に案内され、貴重なお時間をちょうだいし取材を始めることとなりました。

▲佐々木 修社長

野球を通して従業員同士が結束を強める

「準優勝おめでとうございます！」。私たちはこの言葉に端を発し、最初の話題は、当健保組合が主催する野球大会に関することから始まりました。同社は今大会で念願の千葉マリンスタジアムでの決勝戦にコマを進め、緊迫した投手戦の末、惜しくも準優勝に終わりました（詳細については一六頁をご参照ください）。

当初の目標は初戦突破であったそうですが、過去の大会では残念ながら力を十分に発揮できず悔しい思いをされておりました。今年、飛躍的に戦力がアップされた理由をお聞きすると、「新戦力の加入とともに主力選手がリーダーシップを発揮し、チーム一丸となって勝利をめざしたことです」とおっしゃられました。佐々木社長ご自身も野球にたいへん関心があり、「野球を通して従業員同士が一つの目標に向かって結束を強めることはさまざまな効果を得ることができるので、今後も野球大会には積極的に参加していきたい」、と力強くおっしゃられました。

次の大会では、さらなる団結力のもと、紫紺の優勝旗をねらわれることでしょう。

いくたびの難局を乗り越え、パートナー企業としての信頼関係を盤石に

次に社史ならびに事業内容について伺いました。

泰成工業は、住友精化千葉工場の建設に際し、初代社長が土地を紹介するなどのご縁があったことから、昭和四十四年二月に同工場の完成と同時にパートナー企業として設立されました。

設立当時から、同工場内での欠かせない業務である構内作業と配送の双方を手がけられ、事業の基盤を構築されました。その後、経済情勢の変化やオイルショックなど厳しい環境下でご苦労もあったそうですが、友好的な関係のもといくたびの難局を乗り越えてこられました。

▲㈲泰成工業の事務所前（八千代市）

ちなみに同社の社名は、幅広く事業を成し遂げる「大成」から命名されました。

現在の業務内容は、住友精化が生産する粉末樹脂（粉末プラスチック）や特殊ガス（混合ガス・標準ガス・半導体用ガスなど）の原料の入荷・梱包作業と、関東エリアを中心とする住友精化独自のエリア配送を担っているそうです。

先達が築きあげてきた信頼関係を三代目の佐々木社長が引き継がれ、さらに独自の信念で時代に即した事業にも積極的に取り組まれたことが、パートナーとしての立場を盤石にしたと私たちは確信いたしました。

「安全」最優先の職場環境づくりと、「生涯現役選手」としての体力の保持増進

次に、安全対策や社員教育の話題に移りました。

化学品などの危険物を取り扱うことから、構内作業員を対象に住友精化と協力して週に一回程度、部門別に分かれKY（危険予知）研修会を実施しています。また、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）や、作業行動のなかで指差し確認の徹底をさせるなど社員のスキルアップに努めておられます。運転手に対しては関係者の協力を得て、事故の事例をもとに勉強会を実施し、物流安全の確保に取り組まれています。

「慣れ」は油断を生み、「油断」は思いがけない重大な事故を招くことになります。同社の徹底した安全教育は、社員一人ひとりが「危険」を危険と気づく感受性を鋭くし、情報を共有することでチームワークが生まれ、それが、「安全」を最優先とした職場環境づくりにつながっています。

続いて、健康管理やふだんから気をつけられておられることについて伺いました。

冒頭の話題で盛り上がったことからもおわかりのとおり、佐々木社長は無類の野球好きです。会社では監督として指揮や指導をされる一方、プライベートでは地元の社会人チームに所属し選手として活躍され、日ごろから筋力トレーニングや素振りを欠かさず行うなど体力の保持増進を心がけているようです。長引く経済不況のなか、企業経営にはご腐心のことと思いますが、佐々木社長には心身ともに健康で「生涯現役選手」としてプレーを続けられることを祈念いたします！

◆　◆　◆

最後に当健保組合への要望や意見をお聞きすると、「野球大会やバスハイキングは社員も非常に楽しみにしているので、今後も継続していただきたい」「健保組合の職員の方々には、丁寧に対応してもらっている」とお褒めのお言葉をちょうだいしました。

そのお言葉に甘んじることなく、私たちも、「組合員の方々のパートナー」として、今後も取り組んでいかなければならないとひしと感じました。

こうして、あっという間に予定していた時間を迎え取材を終えました。佐々木社長をはじめ、泰成工業の皆さま、ご協力ありがとうございました。